

ゆうべつ

社協だより

支え合いの輪・共同募金にご協力をお願いします 赤い羽根共同募金

10月1日から全国一斉に「赤い羽根共同募金」が始まりました。

赤い羽根共同募金は、公的な支援では補えない、地域に必要な福祉活動を支援するしくみです。集められた募金の多くは、町内の福祉活動に活用されますが、一部は大規模災害の発生時にボランティア活動が円滑に行われるよう「災害等準備金」として全道域で積み立て、万が一に備えています。

9月27日に、湧別町共同募金委員会会議を開催し、今年度の運動について協議され、目標金額や実施方法が決定されました。

自治会を通じて各ご家庭に募金協力をお願いする「戸別募金」や、企業を対象とした「法人募金」を中心として募金運動をしておりませんが、団体有志が実施する「街頭募金」や、各学校の児童会・生徒会の皆さんによる「学校募金」など、幅広い形で展開する予定です。

さまざまな地域福祉活動のために使われる大切な募金です。町民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

令和5年度

湧別町共同募金 目標額

赤い羽根共同募金

目標額 2,167,000円

歳末たすけあい募金

目標額 550,000円



昨年の学校募金のようす(富美小学校)



「当地ピンバッジ」頒布しています！

今年度製作した「湧別町ご当地ピンバッジ」は、現在も頒布募金を継続して実施しています。ひとつ500円で頒布しており、製作費を除いた金額がすべて募金となります。

湧別町のマスコット・チューピットが、我が町の礎を築いた開拓の祖 屯田兵の制服を着たデザインです。

社協事務所のほか、町内協力事業所において頒布募金活動を実施しています。ぜひ、お求めくださいますようお願いいたします。

●頒布場所は次のとおりです

- ◆かみゆうべつ温泉
チューリップの湯様(中町)
- ◆イワイ様(中町)
- ◆社協本所事務所(南町)
- ◆社協支所事務所(栄町)

湧別町限定
かみゆうべつチューリップ公園
イメージキャラクター
チューピット



じまの町を盛り上げる、
赤い羽根共同募金

4年ぶりに開催 日帰りバスの旅

ふれあい散策会

コロナ禍で実施が見送られていた、湧別町社協による地域交流行事「ふれあい散策会」を、4年ぶりに開催しました。

町内に住む70歳以上のひとり暮らしの方を対象としたこの事業には、98名が参加されました。7月31日から5日間にわたり実施。福祉委員と社協役職員も同行し、地域住民のふれあいの時間を過ごしました。

今年は、清里町を最終目的地とし、途中で網走市と小清水町の道の駅を巡る旅になりました。昼食会場の「きよさと温泉ホテル緑清荘」では、宴会場で円卓を囲みました。久しぶりの会食機会だという方も多く、ある参加者は『大勢で賑やかに食事をしたのは何年振りだろう。やっぱりいいものだね』と話されていました。

散策会の期間中は、酷暑が続いていた時期でしたが、皆さんお元気に過ごされました。清里町の情報交流施設内のカフェでは、ソフトクリームを頬張る姿が多く見られました。また、清里焼酎や小清水町の特産品、網走市の銘菓などをおみやげに求める人が多くいました。



網走市、小清水町、清里町の道の駅や観光施設を散策。おみやげを求める姿が多くみられました。



『久しぶりに大勢で食事をしたよ！』 清里町の「きよさと温泉 緑清荘」で、昼食会を催しました。



7月31日 5の1・南町の皆さん

**みんな笑顔で
ハイチ〜ズ!**

ふれあい散策会では、開催日
ごとに参加された皆さんと集合
写真を撮りました。

バスに乗ってお出掛けし、楽
しく過ごした皆さんとの夏の日
の思い出の一枚です。



8月1日 湧別地区の皆さん



8月2日 上湧別地区の皆さん



8月3日 芭露地区の皆さん



8月4日 中湧別地区の皆さん

歳末たすけあい募金配分事業

**おせち料理
プレゼント**

歳末たすけあい募金の配分を受けて
例年実施している「おせち料理プレ
ゼント」を、今年度も実施いたします。
希望される方は、原則ご本人により
申込みをお願いいたします。

【対象となる方】

77歳以上のひとり暮らしで、町内に
子どもが住んでいなく、大晦日をひ
とりで過ごし、このサービスを希望
する方。

【お届け日】

令和5年12月31日（日）
午前9時〜11時頃、ご自宅にお届け
します。

【申込方法】

電話で申込みください。

原則、本人による申込みが必要です。

【申込期限】

令和5年12月8日（金）※期日厳守

【申込み・お問い合わせ先】

湧別町社会福祉協議会事務局

おせち料理プレゼント係

電話 2・2197

人と人が結びつく地域づくりのヒントとは 地域の支え合い活動を考える学習会

9月1日、町文化センターさざ波において、地域の支え合い活動を考える学習会を開催し、関係者を含む町民80名が参加されました。

地域の支え合い活動の推進を目的としたこの講演会には、北星学園大学社会福祉学部教授の岡田直人氏をお招きし「人と人が結びつき盛り上がりつつある地域の集いの場の仕掛け」と題し、講演をいただきました。

講演で岡田氏は「地域活動の参加は、自分の得意なことを生かして地域に貢献でき、かつ自身の健康にも効果がある」とお話しされました。

また、課題となっている新たな地域の担い手探しのポイントとして、年齢や性別を問わず、あらゆる住民や関係団体を巻き込むことが重要であることを、たくさんの方の具材で美味しく調理するお好み焼きに例えて、わかりやすく解説されました。

自治会や老人クラブなど地域の活動に関わる参加者からは、これからの活動にとっても参考になったと声が寄せられました。



走る地域食堂・子ども食堂 元気に活動中 湧別町社協キッチンカー

老人クラブ活動や自治会の交流行事、児童センターなどに出向き地域の交流事業を応援することを、おもな目的として活動する「湧別町社協キッチンカー」が、7月中旬より本格始動いたしました。

これまでの稼働実績（7～9月）

◆老人クラブ月例会

・芭露にここにこ倶楽部

・屯市高砂クラブ

・東老人クラブ百寿会

・志撫子老人クラブ

・5の3睦会老人クラブ

・上芭露寿クラブ

・信部内老人クラブまこと会

◆ふれあいサロン

・ふれあいサロンゆう（栄町）

・ふれあいサロンとも（上芭露）

◆地域イベント（PR活動）

・第8回屯田七夕まつり

・北町自治会「北町えんにち広場」

◆こども支援

・湧別児童センター

・なかよし児童センター



【左】湧別児童センターでかき氷【右】芭露にここにこ倶楽部（老人クラブ）の月例会

高齢者を支える地域づくりのために理解を深めませんか

支えあいサポーター養成講座

受講者を募集しています



会場① 湧別町社会福祉会館

Ⅰ階視聴覚室（湧別町中湧別南町）

開催日 / 11月17日(金)

時間/午後6時30分～午後8時30分

会場② 湧別町文化センターさざ波

Ⅰ階中会議室（湧別町栄町）

開催日 / 11月22日(水)

時間/午後1時30分～午後3時30分

上湧別地区は夜間、湧別地区は日中の開催です。場所と時間帯の異なる2会場からお選びください。
講座を修了した方には、認知症サポーター認定の証「オレンジバッジ」などが贈られます。

講習のテーマ みんなで高齢者を支え合い
ちいさな「変化・気づき」を見逃さない地域づくり



本講座は「地域福祉」と「認知症理解」の2つの講義・講話で構成いたします

「気づき」という支え合い活動
～高齢化社会と住民主体の生活支援について～

認知症を学び地域で支えよう
(認知症サポーター養成講座)

湧別町は総人口のうち、約4割が高齢者です。元気で明るい暮らしをしている人が多い一方で、身体的・精神的不安を抱えている人や、近所づきあいがなく、地域から孤立している人もいます。

地域住民による支え合い活動を推進するなかで、顔見知りやご近所という関係性があるからこそ感じる、住民目線のちいさな「気づき」が高齢者支援につながる場合があります。

この講話では、地域課題や生活支援の内容に触れ、地域住民による支え合い活動について、事例を踏まえながらお話しいたします。

日本には現在、認知症患者が約600万人いるとされており、65歳以上の方の7人に1人が発病すると言われています。

もし身近に認知症の方がいた時にそっと見守る・そっと手助けをする人が地域にたくさんいることが、安心して暮らせる地域づくりにつながります。

この講座は、認知症の背景と現状、正しい理解と適切な対応を知ることがポイントです。本講座を修了された方には「認知症サポーターの証」として、オレンジバッジや認知症サポーターカードなどが贈られます。(認定グッズの内容は変更する場合があります)

湧別町社協ボランティアポイント付与対象事業

本学習会に参加された方には、チューリップSTAMP100ポイントを進呈しますので、カードをご持参ください。

◆参加方法 / 11月7日までに、電話で申込みをお願いいたします。

◆申込み・問合せ先 / 湧別町社会福祉協議会事務局

電話番号 2-2197

主催 湧別町社会福祉協議会 / 湧別町（福祉課・地域包括支援センター）

(湧別町生活支援体制整備事業 受託者)

あたたかい寄付金ありがとうございます

(令和5年7月1日から令和5年9月30日まで)

■香典返しを廃止して

(敬称略)

月日	住 所	氏 名	金額	月日	住 所	氏 名	金額
7.3	栄 町	今 孝 子	20,000	8.7	札富美	福 島 保	50,000
7.3	港 町	吉 井 直 樹	50,000	8.24	5の3	穴 田 勝 正	50,000
7.4	5の3	中 川 麻 衣	30,000	9.11	4の2	池 田 星 凜	30,000
7.7	5の3	松 浦 光 明	30,000	9.14	屯 市	三 澤 ふみ子	10,000
7.24	川 西	小 川 征 一	50,000	9.21	5の3	遠 藤 功	5,000
7.28	屯 市	梅 本 広 幸	30,000	9.28	屯 市	井 上 裕 之	50,000
7.31	富 美	三 澤 誠 司	30,000	9.28	港 町	加 藤 由美子	50,000
7.31	福 島	眞 坂 正 人	30,000	9.29	南 町	佐 藤 裕 樹	50,000

■福祉活動に役立てて

(敬称略)

住 所	氏 名・会社名	金 額 ・ 品 名
錦 町	湧別町農業協同組合	金30,000円
湧別町	チューリップ歌謡愛好会	金30,000円
せたな町	アジアンプロレスリング	金10,000円
北見市	北見トヨペット株式会社	車いす1台(マッチングギフト寄贈)
東 町	アサヒ食品工業株式会社	食品(うどん・そば・ラーメン) 給食サービス・デイサービスの食材として

社協役職員のおもな動静

令和5年7月から令和5年9月まで

月日	用 務	出席者	月日	用 務	出席者
7.5	令和5年度オホーツク管内市町村社協連絡協議会会長事務局長会議	会長 局長	8.23	令和5年度社会福祉関係無縁故者慰霊祭	会長
7.18 ～19	令和5年度全道市町村社協会長事務局長研究協議会	会長 局長	8.29	湧別町生活支援体制整備事業第3回担当者会議	局長 職員
7.20 ～21	令和5年度生活支援コーディネーター養成研修基礎編	職員	8.30	令和5年度北海道ブロック老人クラブリーダー研修会	職員
7.28	令和5年度遠軽ブロック老人クラブ連合会研修会	職員	9.1	令和5年度地域の支え合い活動を考える学習会(講演会)	(主催)
7.31	令和5年度ふれあい散策会(～8.4まで)	(主催)	9.12	令和5年度網走地区身体障害者レクリエーション大会	職員
8.1 ～2	令和5年度全道社協職員研究協議会	局長	9.21	湧別町生活支援体制整備事業第1回協議体会議	局長 職員
8.4	令和5年度網走地方共同募金委員会理事会	会長 職員	9.23	第71回全道身体障害者福祉大会紋別大会	職員
8.9	令和5年度町内社会福祉法人合同役員研修会	(主催)	9.26	令和5年度オホーツク地区地域支え合い活動推進セミナー	職員
8.18	令和5年度湧別町戦没者・機雷殉難者追悼式	副会長	9.27	令和5年度湧別町共同募金委員会会議	会長 局長他
8.22	令和5年度網走地方共同募金会町村共同募金委員会関係者研究協議会	職員	9.29 ～30	令和5年度網走管内社会福祉協議会職員連絡協議会自主研修会等	局長

湧別町社会福祉協議会

本所
支所

湧別町中湧別南町(湧別町社会福祉会館 内) 電話2-2197
湧別町栄町(湧別町役場湧別第2庁舎 内) 電話5-3772